



小磯 利雄 議員

予算編成

事業内容・予算概要を問う

町長／計画的な維持管理に努める

小磯 ①平成30年度予算編成の基本的な考え方と予算概要は。②復興・創生事業の優先の実施内容と予算概要は。③若い世代の定住促進と、担う人々を育む環境の充実施策と予算概要は。

町長 ①復興計画完了を見据えた事業執行を基本方針とし、復興道路等の事業費削減で前年度より、約27億円減額です。②明るい未来への子育て・教育環境整備等を優先し、主に認定こども園整備事業約5億3千万円、初めての妊娠、出産子育て相談会事業12万円等です。③未婚者交流イベント等111万円、農業後継者の確保と、育成を図る事業120万円等が主な事業です。

町長 ①復興計画完了を見据えた事業執行を基本方針とし、復興道路等の事業費削減で前年度より、約27億円減額です。

小磯 Jヴィレッジ新駅構想について、

町長 ①平成22年の乗車人員は12万3千人で、新駅の利用者数は、JR東日本で運行計画を検討しています。

Jヴィレッジ新駅

この構想の詳細はいかに

町長／現在調査・検討している

小磯 ①震災以前広野駅利用者数と目的の新駅利用者数は何人ですか。②新駅は臨時駅か常設駅かお聞きします。③新駅所在地住所は。④「駅前広場整備等は地元負担」と説明があったが、所在地住所と事業費総額は。⑤事業説明時あった補助金・裏負担金について相手方・金額は。

町長 ①平成22年の乗車人員は12万3千人で、新駅の利用者数は、JR東日本で運行計画を検討しています。②運行管理上は臨時駅になると受け止めています。③本町と榎葉町の境への設置に向け、調査・検討されています。④JR東日本において現在調査・検討中です。⑤利用可能な補助金等について調査・検討し対応します。

施政方針

施策の概要は

町長／各種施策を積極的に取り組む

小磯 平成30年度施政方針より①避難中の町民に対するケア及び帰町計画は。②町民人口は下がる一方ですが、回復策をお聞きします。③広桜荘の週末サービースガ一向に実施されないのはなぜですか。④ふたば未来学園整備について、本町の土地提供面積と、町・町民への振興は。

町長 ①生活支援相談員、保健師の訪問や、避難先自治体へ情報提供を行い、また計画は、アンケート等を踏まえ、対策を講じていきます。②若者世代の定住促進策や企業誘致等、流入策を積極的に展開します。③土曜日開所に必要な介護職員の募集をしてきましたが、全国的な職員不足により雇用ができていません。④校舎、寄宿舎敷地等の合計約8万㎡です。町への誇りや愛着醸成により本町と関わる活躍、また、保護者との交流拡大が持続可能な町づくりの期待できるものです。

ほ場整備

完了するまで国の財源が確保されるのか

町長／今後も要望し、財源確保を図る

渡邊 本年秋に着手予定の県営ほ場整備事業は、国の交付金を活用するため、農家の負担は生じないとのことですが、国の復興、創生期間は平成32年度までとなりまして。一方で、工事の完了は平成37年になることも聞きますが、ほ場整備が完了するまで国の財源が確保されるのですか。

町長 国の財源の確保については、平成32年度までとなっていることから、昨年12月と本年2月、東北農政局長に対して、財源確保と地方負担軽減措置の継続について要望し、今後も県、関係市町村と共に、復興庁及び農林水産省に対して要望して財源確保を図ります。



第1回ふくしま学(案)会(早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター)

研究拠点

事業内容と地域振興への寄与は

町長／教育機関のもつ知見や経験による施策を活かしたい

渡邊 昨年、早稲田大学や東日本大学、福島高専などが二ツ沼総合公園パークギャラリー内に研究拠点を設置され、高等教育機関との連携は、イノベーション・コースト構想の推進に寄与するだけでなく、町の復興、創生教育環境の向上に大いに役立つものと期待をしていますか。

町長 ①早稲田大学では、スマートコミュニティ構築に向けた調査や町内教育機関との連携を行い、東日本国際大学は、「心のケア」プログラム、スポーツ講座等、福島工業高等専門学校は、ロボット講座や自然科学教室等、人材育成やふる里「ひろの」の再発掘等を行っていきま